

人権標語 最優秀賞	
ひとそれぞれで みんながっていいんだよ	小学校1年生 齋藤 暖心
その言葉、あい手の心をきずつけていないかな？	小学校3年生 市川 涼子
みんながね えがおになるよ 「ありがとう」	小学校4年生 門脇 彩智
あいさつは 気持ちを変える まほうだよ	小学校5年生 西脇 昂志
気づかない そのひとことが 差別だよ	中学校1年生 増田 陸斗
助けてと 言えたらどれだけ 楽だろう	中学校1年生 福尾 葉
気づいてよ 見て見ぬふりも いじめだよ	中学校2年生 井手 翔稀
言う前に 考えてみよう その言葉	高校3年生 安藤 詩穂

人権標語 優秀賞	
きにしないでいいよ。まちはいはたからもの。	小学校1年生 市川 桜琉
えがおであいさついいきもち	小学校2年生 久保 慶人
見守ろう こまっている子は いないかな	小学校4年生 堀 泰嘉
あのね君 1人じゃないよ みんないる	小学校6年生 菅原 柚萌梨
その言葉 気づいてなくても いじめだよ	小学校6年生 浅野 いろは
一言で いじめに変わる 言葉の矢	小学校6年生 後藤 琉惺
優しさが だれかの心を 救うカギ	中学校1年生 内山 菜々子
気づこうよ 傷つく心の 奥の声	中学校3年生 森本 捺
助け「あい」支え「あい」が人の愛	高校1年生 佐藤 優奈
送ったら取り消せないよ その言葉	高校3年生 前川 将輝
決めつけず 相手のことを まず知ろう	一般の部 黒宮 幸子
むきあおう 自分の心の中の 差別心	一般の部 廣瀬 あゆみ

人権メッセージ最優秀賞	
はしのうえのおおかみさん、やさしくなれてよかったね。やさしくするとともだちができるかもしれないよ。やさしくしたら、いいことあるよ。ゆずりあいって、だいじだね。どんなときもゆずりあおうね。	小学校1年生 土屋 隆太郎
わたしは、よくあいさつをしています。なぜかと言うとあいさつをするといい気持ちになるからです。しかもまたあしたねといわれるとまたこようかなとおもえるからですあしたもあいさつをします。	小学校2年生 市川 乗菜
いじめを止めないのはなぜ、自分もいじめられるかもしれない。そう言ってみんな自分がいじめられるのがイヤだから、本当は見えているのに見えてないフリ自分じゃないから他人だから関係ない、いじめを見たらすぐ止めよう。	小学校4年生 山川 碧菜
言葉は一言で人の心を明るくしたり、暗くする事も出来ます。でもそんなつもりもなくきずつける事もあります。なのでいったん言う前に考えてみてください。あなたは本当にその言葉を言っているのか、言っただけなのかを。	小学校5年生 堀 雄登
私達が毎日を気持ち良く過ごすには、「一言かける」という事が大事だと思います。朝が来たら、「おはよう」感謝するなら「ありがとう」。相手の目を見て、声に気持ちを込める事で不思議と優しくなれるからです。	中学校2年生 太田 彩瀬
よく「差別をなくすために行動をしよう」という言葉をききます。でも何をしたら良いのでしょうか。私は何事も自分事として考えることが大切だと考えました。自分の小さなその気持ちが誰かのためになると思います。	中学校3年生 坂口 紗英

人権メッセージ 優秀賞	
わたしは学校をやさしい学校にしたいです。そのためにやさしく、まいにちをきもちよくすごしたいです。ぼかぼかことばをわたしはつかっています。みんなもぼかぼかことばをつかってほしいです。	小学校2年生 平野 恵麻
人が人をきめつけるから差別になる。だから相手のことをよくみてよく聞いたりしてあいての人が、どんな人か考えたり、自分から質問したりして、相手の人はこんな人なんだなど、自分は考えたり、思うようにしていきたいです。	小学校5年生 加藤 妃奈乃
いじめをされる人はたくさんいます。その人は絶対に不安をかかえています。その行動で生きるのがつらくなってしまう人がいます。いじめをされている人の気持ちを考えてみましょう。その人がどれほど苦しんでいるかを。	小学校6年生 北村 斗哉
いじめや、差別をなくしてどんな人でも、だれもが安心できる世界になるように願ってます。人々のいろいろな大切をいろいろな人が守ることが大切だと私は思います。まずはみじかな人の大切を自分の力で守りたいです。	小学校6年生 坂口 瑠唯

私は、人はずるいと思う。それは、口だけ言っていて、行動しないからだ。「差別をなくそう」と言っても何もしないことがずるいと思った。自分だって言えないけど、全員がどうしていきたくを動きで示していこう	中学校1年生 阿部 空澄
私たちは差別のある世界で生きている。ほんとうにこのままでいいのだろうか。差別があるということは、くるしい思いをしている人がいるということだ。見て見ぬふりは差別を支えるのと同じだ。あなたはそうっていない？	中学校1年生 樋口 実歩
人と人の違いは、あって当然な事だと思う。違いが理由で差別することは、絶対してはいけないし許されない事だと思う。世界には色々な人がいる。人との違いを分かり合い互いに尊敬できる社会にしていきたいと思う。	中学校1年生 山川 蒼介
「人権問題」というのは幅広くて難しく、一生学び続けて知識を得ていくことが大切だと思います。知識を得た上で、次に自分には何が出来るか考えて行動していき多くの人が安心できる社会をつくれたらと思います。	中学校3年生 阿部 心翔奈
私は笑った。笑うしかなかった。本当は嫌なのに。皆がいじって笑うから、空気を壊したくないから、私は笑って、裏で泣くしかなかった。皆に悪気はないのだから私は笑った。笑うしかなかった。	高校1年生 濱田 彩名
人間はみんな違う。だけど「人権」があるのは全員同じ。障害があったり、生まれた場所が違ってみんな同じ。相手がどんな人でも差別はダメ。それはその人だけの個性だから、その人にしかない大切なものだから。	高校2年生 杉本 樹
「普通」なんてものは、ない。同じ人はいない。みんな違う。固定概念にしばられず相手を思いやる言動や行動をしよう。どんな人も特別ではなく一人の人間。みんながかけがえのない存在なのだ。	高校2年生 森 結奈
いつも何気なく使っている言葉。言葉は人をうれしくしたり楽しくしたりできる。でも悲しくしたり傷付いたりすることも出来る。言葉一つで人生が変わる事もある。みなさんはどんな言葉を使っていますか？	高校3年生 兒玉 晴哉
誰かのことを考えることだけが人権を考えることではないと思う。考えるのは結局自分。誰かと他人に矢印をむけるより、自分に矢印を向けた方が答えは見つかりやすい。私も自分に矢印を向けられる人間になりたい。	高校3年生 鳥本 晴太
私には、先輩から言われた大切にしている言葉があります。その言葉は「恩送り」。その先輩は、周りの人にそっと気遣いをしてくれて、私が「いつもお世話になっているのに、なにもできなくて」と言うと「それはいいから、〇〇さんができることを周りの人や後輩にすればいいんだよ」と言われました。自分ができる事を周りの人や困っている人にする。この言葉を心に止め、今度は私が「恩送り」して次の人へ愛のバトンを渡して行きたいです。	一般の部 山口 真奈美